

別記様式第2

委託業務等成績評定表

委託業務等成績評定表										
							事務所名			
委託業務等名										
業務番号										
契約金額	当初: ¥						最終: ¥			
履行期間	当初:	~					最終:	~		
完了年月日										
完了検査年月日										
契約相手方住所氏名										
管理技術者氏名										
照査技術者氏名										
主任技術者氏名										
担当技術者氏名①										
担当技術者氏名②										
担当技術者氏名③										
総括監督員所属・氏名										
主任監督員所属・氏名										
検査員所属・氏名										
評価項目		主任監督員等 評定点 ①	総括監督員等 評定点 ③	検査員 評定点 ⑤	業務評定 ⑦(注1)		技術者評定			
							管理技術者、主任 技術者	担当技 術者	照査技術 者	
専門技術力	提案力、改善力	60	—	—	①× 10/10	120.0	120.0	120.0	—	
	業務執行技術力	28	0	20	①×1/10+ ③×5/10+ ⑤×4/10	43.2	43.2	43.2	—	
	施工時 への配 慮(注 2)	概略設計、 予備設計	—	—	—	①× 10/10	—	—	—	—
		詳細設計	—	—	—	①× 10/10	—	—	—	—
	コスト把握能力 (注2)	—	—	—	①× 10/10	—	—	—	—	
管理技術力	工程管理能力	60	—	—	①× 10/10	120.0	120.0	—	—	
	品質管理能力	60	—	—	①× 10/10	120.0	120.0	—	120.0	
	迅速性、弾力性、調整 能力	60	—	—	①× 10/10	60.0	60.0	—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテー ション力、協調性	28	—	20	①×1/10+ ⑤×9/10	2.0	2.0	2.0	—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理 観	20	0	—	①×1/10+ ③×9/10	4.0	4.0	4.0	—	
成果品の品質		20	—	20	①×1/10+ ⑤×9/10	140.0	140.0	80.0	20.0	
⑩=⑦の評定点の加重平均点(注3)		—	—	—	—	29	29	19	47	
⑪事故等による減点		—	—	—	—	0	0	0	0	
⑫瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	—	0	0	0	0	
⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫		—	—	—	—	29	29	19	47	

- 注) 1. 各評価項目の「⑦業務評定」は、少数第一位までとする。
 2. 「施工時への配慮」および「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。
 3. 「⑩=⑦の評定点の加重平均点」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

別記様式第3-1(業務)

項目別評定点

評価項目	評価の視点	業務評定 (評定点/満点)	技術者評定			
			管理技術者、主 任技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
専門技術力	提案力、改善力	120点 / 200点	120点 / 200点	120点 / 200点	—	
	業務執行技術力	43点 / 400点	43点 / 400点	43点 / 400点	—	
	施工時 への配 慮(注 1)	概略設計、 予備設計	—	—	—	—
		詳細設計	—	—	—	—
	コスト把握能力 (注1)	—	—	—	—	
管理技術力	工程管理能力	120点 / 200点	120点 / 200点	—	—	
	品質管理能力	120点 / 200点	120点 / 200点	—	120点 / 200点	
	迅速性、弾力性、調 整能力	60点 / 100点	60点 / 100点	—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼン テーション力、協調 性	2点 / 100点	2点 / 100点	2点 / 100点	—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫 理観	4点 / 200点	4点 / 200点	4点 / 200点	—	
成果品の品質		140点 / 700点	140点 / 700点	80点 / 400点	20点 / 100点	
評定点の加重平均点		29	29	19	47	
事故等による減点		0	0	0	0	
瑕疵修補又は損害賠償による 減点		0	0	0	0	
総合評定点(注2)		29点 / 100点	29点 / 100点	19点 / 100点	47点 / 100点	

注) 1. 「施工時への配慮」および「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

2. 総合評定点は評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均点である。

8. 業務評定項目

評価項目	評価の視点	(1)地質調査、単純調査等業務、測量作業				(2)調査業務、計画業務				(3)設計業務				
		主任監督員	総括監督員	検査員	評定点	主任監督員	総括監督員	検査員	評定点	主任監督員	総括監督員	検査員	評定点	
専門技術力	提案力、改善力 [加点評価]	業務着手段階における業務特性等の考慮	○ ※1			⑦=	○ ※1			⑦=	○ ※1			⑦=
		業務遂行段階における提案	○ ※1			①×10/10	○ ※1			①×10/10	○ ※1			①×10/10
		業務遂行上必要となる課題の提案	○ ※1				○ ※1				○ ※1			
		業務内容等改善の提案	○ ※1				○ ※1				○ ※1			
		小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○			⑦=	○			⑦=	○			⑦=
		必要情報の把握	○			①×1/10	○			①×1/10	○			①×1/10
		検討項目、検討手法	○	○	○	+③×5/10	○	○	○	+③×5/10	○	○	○	+③×5/10
		打合せ資料の内容[減点評価]	○ ※2			+⑤×4/10	○ ※2			+⑤×4/10	○ ※2			+⑤×4/10
		十分な技術力	○		○		○		○		○		○	
小計	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦		
施工時への配慮(設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、口のいずれかを選択する。)	イ.『概略設計、予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識								△			⑦=	
		施工条件等の把握								△			①×1/10	
	小計									①100点満点			⑦	
	ロ.『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識									△			⑦=
		施工条件等の把握									△			①×1/10
小計									①100点満点			⑦		
コスト把握能力(設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力									△			⑦=①×1/10	
小計										①100点満点			⑦	
管理技術力	工程管理能力 [減点評価]	実施手順、工程計画	○ ※2			⑦=	○ ※2			⑦=	○ ※2			⑦=
		実施体制	○ ※2			①×10/10	○ ※2			①×10/10	○ ※2			①×1/10
		打合せ内容の理解、記録	○ ※2				○ ※2				○ ※2			
		内部関係者への情報伝達	○ ※2				○ ※2				○ ※2			
		工程管理	○ ※2				○ ※2				○ ※2			
小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦		
品質管理能力 [詳細設計以外は加点評価]	ミス防止の実施	○ ※1			⑦=①×10/10	○ ※1			⑦=①×10/10	○ ※1			⑦=①×10/10	
	小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	
迅速性、弾力性、調整能力 [加点評価]	当初計画の変更	○ ※1			⑦=	○ ※1			⑦=	○ ※1			⑦=	
	関連事業者間の調整	○ ※1			①×10/10	○ ※1			①×10/10	○ ※1			①×10/10	
	地元住民との合意形成	○ ※1				○ ※1				○ ※1				
小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦		
コミュニケーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○			⑦=	○			⑦=	○			⑦=	
	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○		○	①×1/10	○		○	①×1/10	○		○	①×1/10	
説明を補う努力	○			+⑤×9/10	○ ※1			+⑤×9/10	○ ※1			+⑤×9/10		
小計	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦		
責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	○			⑦=①×1/10	○			⑦=①×1/10	○			⑦=①×1/10	
	責任感、積極性、倫理観		○		+③×9/10		○		+③×9/10		○		+③×9/10	
小計	①100点満点	③100点満点		⑦	①100点満点	③100点満点		⑦	①100点満点	③100点満点		⑦		
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	○		○	⑦=	○		○	⑦=	○		○	
		的確なとりまとめ	○		○	①×1/10	○		○	①×1/10	○		①×1/10	
		ミスの有無	○		○	+⑤×9/10	○		○	+⑤×9/10	○		+⑤×9/10	
		小計	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦
総合評定点の算定		⑦の評定点の加重平均点→		⑩	⑦の評定点の加重平均点→		⑩	⑦の評定点の加重平均点→		⑩	⑦の評定点の加重平均点→		⑩	
		事故等による減点		⑪	事故等による減点		⑪	事故等による減点		⑪	事故等による減点		⑪	
		瑕疵修補又は損害賠償による減点		⑫	瑕疵修補又は損害賠償による減点		⑫	瑕疵修補又は損害賠償による減点		⑫	瑕疵修補又は損害賠償による減点		⑫	
		総合評定点		⑬=⑩+⑪+⑫	総合評定点		⑬=⑩+⑪+⑫	総合評定点		⑬=⑩+⑪+⑫	総合評定点		⑬=⑩+⑪+⑫	

注: 1. 各評価項目の「⑦業務評定」は少数第一位までとする。
2. 「⑦の評定点の加重平均点」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

□は、評定対象外。
○は、必須評定項目。
△は、選択評定項目。
※1は、加点評価項目
※2は、減点評価項目

9. 採点表

(1)地質調査、単純調査等業務、測量作業 ①[主任監督員用]

(1/4)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優		標準		劣		
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力、改善力(加 点評価)	業務着手 段階におけ る業務特性 等の考慮	20	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」 0.6					12	<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注1)
	業務遂行 段階におけ る提案	40	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」 0.6					24	<input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注1)
	業務遂行 上必要とな る課題の提 案	20	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」 0.6					12	<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容 等改善の 提案	20	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」 0.6					12	<input type="checkbox"/> 作業(業務)の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100						60	
専門技術力 プロセス評価	目的と内容 の理解	20	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」 0.2					4	<input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。注2) <input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。注2) <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(業務)、事業が理解されていた。
	必要情報 の把握	20	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」 0.2					4	<input type="checkbox"/> 作業(業務)着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、 検討手法	20	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」 0.2					4	<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)
	打ち合わせ 資料の 内容[減点 評価]	20	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」 0.6					12	<input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に、作業(業務)の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 <input type="checkbox"/> 打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
	十分な技術 力	20	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」 0.2					4	<input type="checkbox"/> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する) <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1)
小計	100						28		

注1) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

注2) 測量作業においては国土交通省公共測量作業規定第10条または第110条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	0.8	0.6	0.4	劣			
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力 [減点評価]	実施手順、 工程計画	30	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」					18	<input type="checkbox"/> 契約締結後14日以内に作業(業務)工程表が提出されないなど、速やかに作業(業務)着手がなされなかった。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)実施方針及び作業(業務)工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
			0.6							
		実施体制	10	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」					6	<input type="checkbox"/> 契約図書に基づき、管理技術者届け及び調査(業務)計画書が提出されなかった。(注) <input type="checkbox"/> 調査(業務)計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。(注)
			0.6							
		打合せ内容の理解、 記録	10	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」					6	<input type="checkbox"/> 打合せ記録簿が提出されなかった。 <input type="checkbox"/> 打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。
	0.6									
	内部関係者への情報伝達	10	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」					6	<input type="checkbox"/> 受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 <input type="checkbox"/> 受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度でも実施した。	
		0.6								
	工程管理	40	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.4」 2⇒「0.2」					24	<input type="checkbox"/> 工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く) <input type="checkbox"/> 工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)	
		0.6								
小計	100	①					60			
品質管理能力 [加点点評価]	ミス防止の実施	100	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」					60	<input type="checkbox"/> 第三者(管理技術者、担当者、照査技術者)以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。(注) <input type="checkbox"/> 品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で、作業(業務)を行った。	
		0.6								
	小計	100	①					60		

注)測量作業においては国土交通省公共測量作業規定第10条または第110条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	0.8	0.6	0.4	劣			
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力[加点点評価]	当初計画の変更	40	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」					24	<input type="checkbox"/> 業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> その結果生じた検討(作業)内容が特に優れていた。
				0.6						
		関連事業者間の調整	30	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」					18	<input type="checkbox"/> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
				0.6						
地元住民との合意形成	30	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」					18	<input type="checkbox"/> 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。		
		0.6								
小計		100	①					60		
プロセス評価	コミュニケーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
				0.2						
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> 質問に対した的確な回答がなされた。又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> 一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
				0.2						
		説明を補う努力	20	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					4	<input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> 説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> 相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
円滑な業務遂行への努力[加点点評価]	20	評価項目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」					12	<input type="checkbox"/> 密に作業(業務)の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。		
小計		100	①					28		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目					
			標準											
			優	1.0	0.8	0.6	0.4			劣	0.2			
プロセス評価	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					20	<input type="checkbox"/> 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しが無かった。 <input type="checkbox"/> 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。				
				0.2							①	20		
				小計	100						①	20		
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					8	<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注)				
				0.2										
				的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。		
						0.2								
ミスの有無	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 <input type="checkbox"/> 修正が必要なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> ミスは無く、必要書類等も完備されていた。						
		0.2												
小計	100						①	20						

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	0.8	0.6	0.4	劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					0	<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。
										<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。
										<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。
								<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。		
								<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。		
								<input type="checkbox"/> その他(理由: _____)		
		小計	100	0.0					③	0
プロセス評価	取組姿勢 責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					0	<input type="checkbox"/> 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
										<input type="checkbox"/> 当該作業(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。
										<input type="checkbox"/> 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。
								<input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業(業務)を完成させた。		
								<input type="checkbox"/> その他(理由: _____)		
		小計	100	0.0					③	0

注) 考査基準の巻末「参考: 採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優		標準		劣			
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
専門技術力 業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					10	<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)	
			0.2							
	十分な技術力	50	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					10	<input type="checkbox"/> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する) <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)	
小計	100	0.2					⑤	20		
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					20	<input type="checkbox"/> 質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。	
			0.2							
小計	100	0.2					⑤	20		
結果評価	目的の達成度	40	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					8	<input type="checkbox"/> 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。(注)	
			0.2							
	成果品の品質	的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
				0.2						
成果品の品質	ミスの有無	30	評価項目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」					6	<input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 <input type="checkbox"/> 修正が必要なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> ミスは無く、必要書類等も完備されていた。	
			0.2							
小計	100	0.2					⑤	20		

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

参考:採点上の補足

採点表の考査項目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会 中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

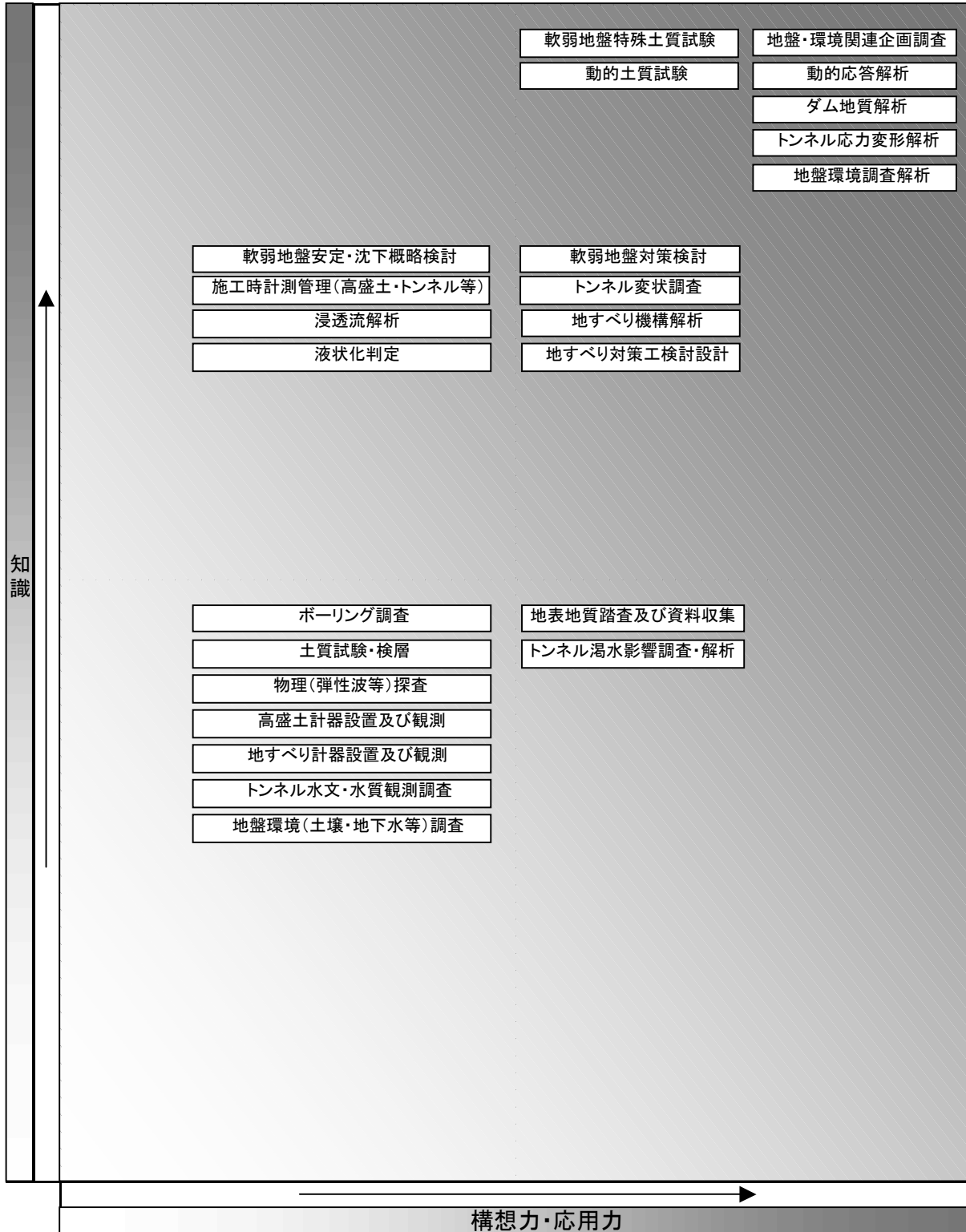


図 地質調査の例

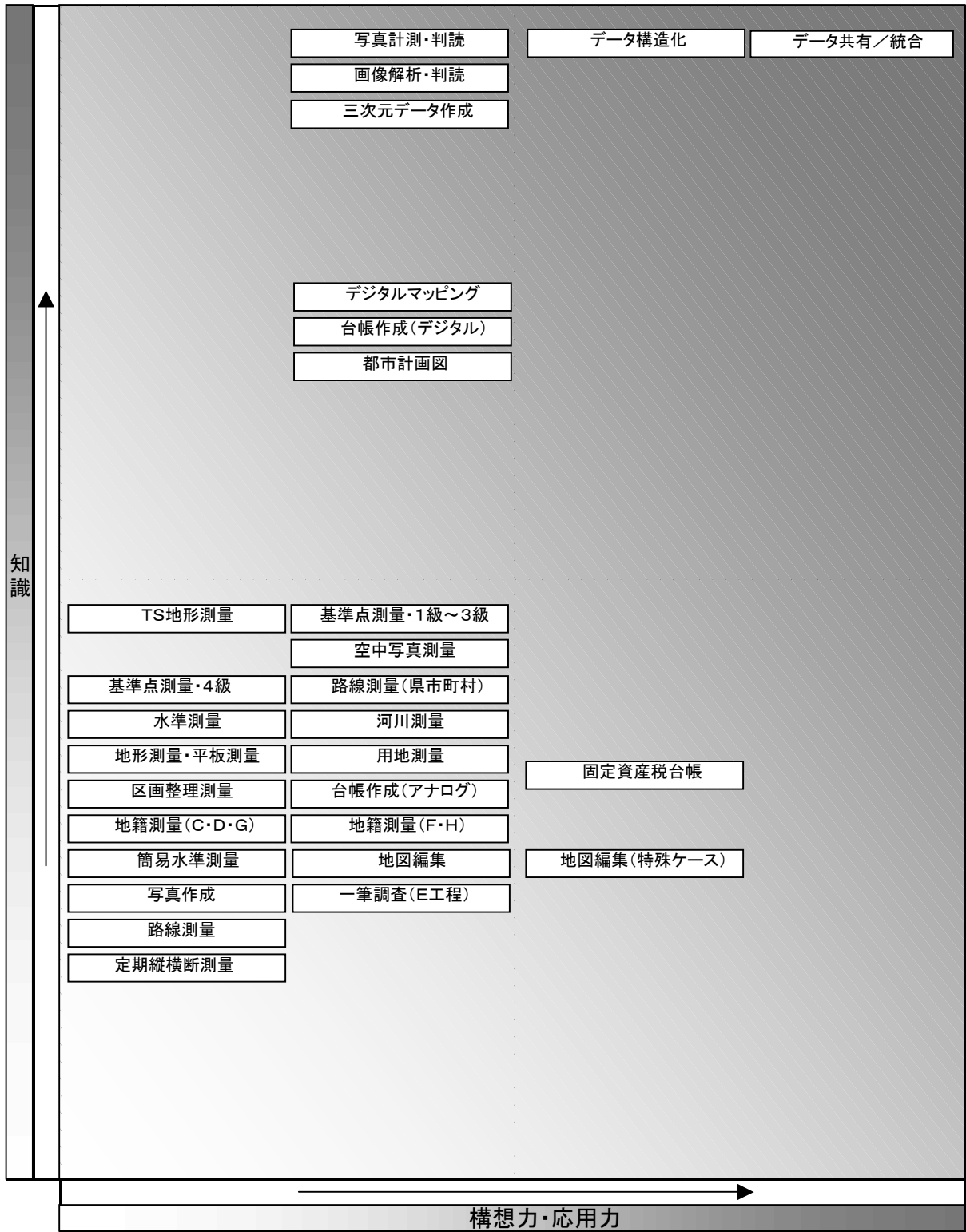


図 測量作業の例

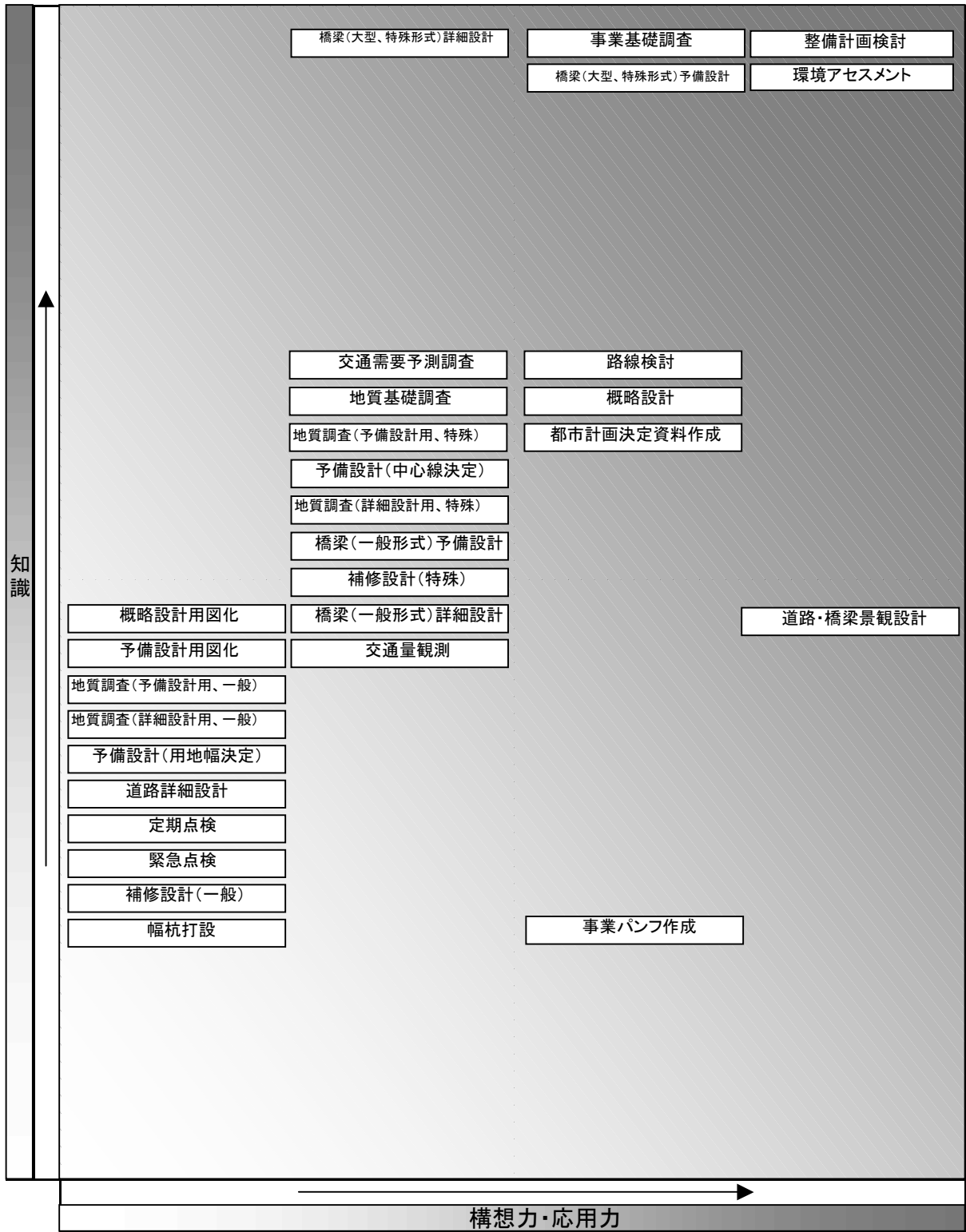
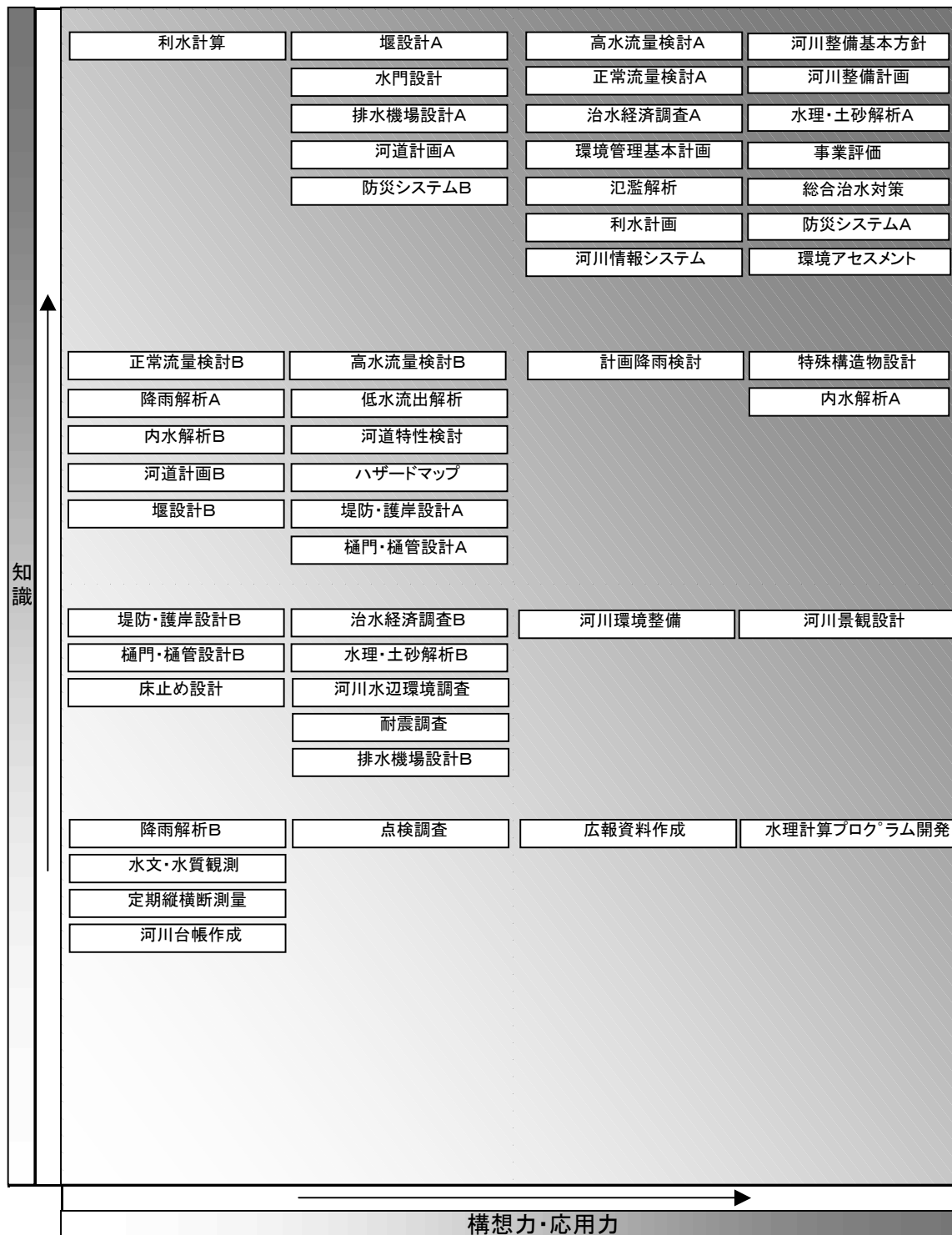


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注：A、Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものであるもの。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例

別表

成績評定考査基準

項目	細目
専門技術力	提案力、改善力
	業務執行技術力
	施工時への配慮（注）
	コスト把握能力（注）
管理技術力	工程管理能力
	品質管理能力
	迅速性、弾力性、調整能力
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観
成果品の品質	

注) 「施工時への配慮」および「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

(参考)

考查基準

1. 総括監督員考查基準

(1) 考查方法

総括監督員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表(総括監督員用)の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

(3) 事故等による減点

当該業務遂行中に受託者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、別表-1を参考として-15点まで減点することができる。

別表-1 受託者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭注意	文書注意	指名停止1ヶ月まで	指名停止が1ヶ月を超える
考查点	-3点	-5点	-10点	-15点

【適応事例】

- 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利業務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- 一括再委託、請負を行った。
- 打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- 当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- 当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- その他(理由:)

(4) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、別表-2を参考として-20点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表-2 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考查点	-10点	-20点

2. 主任監督員及び検査員考查基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って、評定を行うものとする。(評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない)

3. 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考查をもって評定点とみなすものとする。

ここで、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」の3者のうち複数の業務にまたがる場合の「主たる業務」の取扱いについては、以下を参考とされたい。

- ・「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分のどれかが100万円を超えるときには、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。
- ・「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分の複数が100万円を超えるとき、もしくはどれもが100万円を超えない場合には、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を1つ選定するものとする。

これらの取扱いは、主任監督員及び検査員で統一するものとする。

4. 「単純調査業務」について

「調査業務、計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては「調査業務、計画業務」採点表を使用するものとする。しかしながら、この採点表を使用する「設計業務共通仕様書」第1204条及び第1205条に規定する業務には、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等も含まれることから、これを「単純調査業務」と定義し、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」採点表を用いて評定するものとする。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

各部門共通	単純なデータ収集整理業務 単純なデータ処理業務 書類編集的な業務 文献収集業務
河川、砂防及び海岸	水理・水文観測業務 データ加工業務(降雨解析等) 不等流計算等の計算業務(システム開発を除く) 補償数量の算出 工事記録等資料の分類・整理 工事図面集、写真集等の作成
道路	一般的な現地踏査 一般的な交通量観測業務 台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル 施工計画及び施工設備 情報	クラック等変状の計測調査 施工関連資料の収集整理 定期的なデータメンテナンス 資料収集的な業務 単純なデータ作成のみの業務
防災 環境	資料収集的な業務 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法がJIS等で規定されている測定業務

5. 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取り扱いや単純調査業務の選定は、主任監督員が決定する。

6. 技術者の評定について

各技術者の評定点は、業務に対する評定点のうち、以下の評価項目を抽出し、7. の重み付けを考慮して付加する。

評価項目		管理技術者 又は 主任技術者	担当技術者 (注1)	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力	○	○	—	
	業務執行技術力	○	○	—	
	施工時への 配慮(注2)	概略設計、予備設計	○	○	—
		詳細設計	○	○	—
	コスト把握能力(注2)	○	○	—	
管理技術力	工程管理能力	○	—	—	
	品質管理能力	○	—	○	
	迅速性、弾力性、調整能力	○	—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	○	○	—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	○	○	—	
	成果品の品質	○	○	○	

注) 1.「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。

2.「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評価の対象とする。

7. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		地質調査、単純調査 等業務、測量作業				調査業務、計画業務				設計業務				
		業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			
			管理 又は 主任	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査	
専門 技術力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
	業務遂行技術力	4	4	4	—	4	4	4	—	4	4	4	—	
	施工時へ の配慮 (注2)	概略設計、 予備設計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
		詳細設計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
	コスト把握能力 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	
管理 技術力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—	
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	2	
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	
コミュニケー ション力	説明力、プレゼン テーション力、協調性	1	1	1	—	1	1	1	—	1	1	1	—	
取組 姿勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
	成果品の品質	7	7	4	1	7	7	4	1	8	8	5	1	
	合計	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)	

注) 1.「担当技術者」は3人までとする。

2.「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評価の対象とする。